

プロジェクターネットワーク設定ソフトウェア 操作ガイド

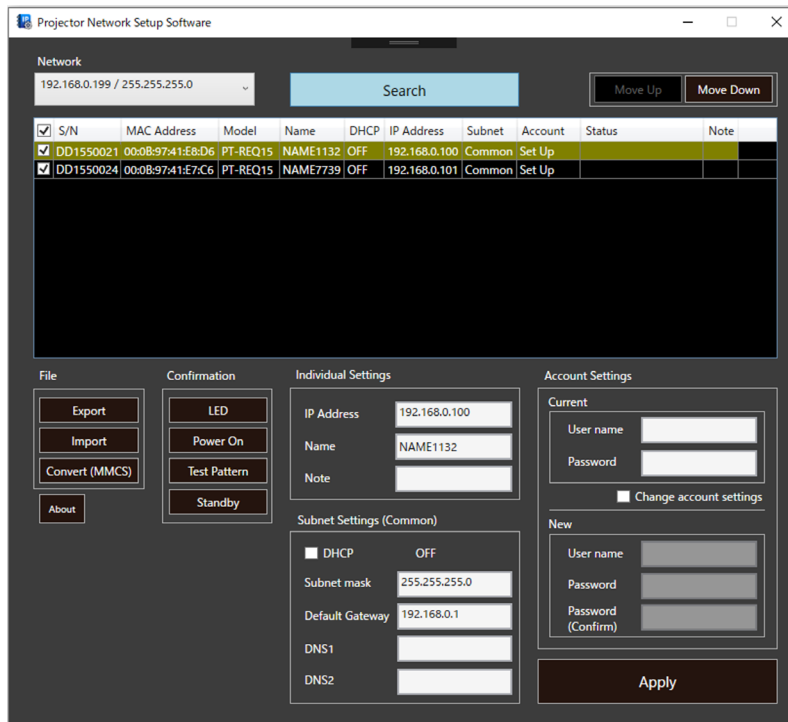
パナソニック製品をお買い上げいただきありがとうございます。

このドキュメントでは、プロジェクターネットワーク設定ソフトウェアの操作方法について説明しています。

■はじめに

本ソフトウェアを使用することで、同じネットワークに接続されている複数のプロジェクターに対して、管理者アカウントや、IPアドレスなどのネットワーク情報、プロジェクター名の設定を一括して行うことができます。

設定済みの管理者アカウントの変更も行うことができます。



■用意するもの

- Windows 10/Windows 11 のいずれかがインストールされた、LAN 端子のあるコンピューター
- LAN ケーブル（ストレートまたはクロス）
システムの構成によってストレートまたはクロスのもどちらか、もしくは両方のケーブルを使用可能かどうか異なりますので、ネットワーク管理者に確認してください。プロジェクターについては、ケーブルの種類（ストレートまたはクロス）を自動的に判別します。
- プロジェクターネットワーク設定ソフトウェア（本ソフトウェア “ProjectorNetworkSetupSoftware.exe”）

■準備

1. ProjectorNetworkSetupSoftware.exe をコンピューター上の任意の場所に置く
 - 本ソフトウェアはインストールの必要がありません。実行ファイルを直接起動して操作します。
2. LAN ケーブルを使用して、コンピューターをネットワークまたはプロジェクターに接続する
3. 設定対象のプロジェクターをスタンバイ状態にする、または電源を入れて投写状態にする
 - [プロジェクターセットアップ] メニューに [スタンバイモード] の項目が存在するプロジェクターの場合、[スタンバイモード] が [ECO] に設定されていると、スタンバイ状態での本ソフトウェアによる管理者アカウントや IP アドレスなどのネットワーク情報、プロジェクター名の設定が行えません。スタンバイ状態で管理者アカウントや IP アドレスなどのネットワーク情報、プロジェクター名の設定を行う場合は、あらかじめメニューを操作して [スタンバイモード] を [ノーマル] に設定してください。

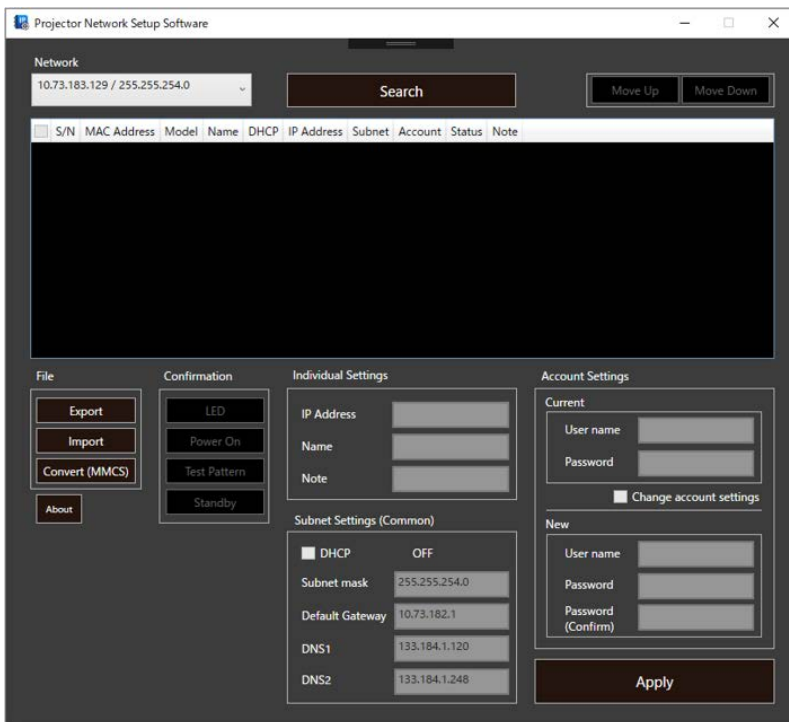
■ 操作手順

本ソフトウェアから LAN 経由で、リストに表示されている 1 台または複数台のプロジェクターに対して、管理者アカウント、ネットワーク情報、プロジェクター名の設定を行います。また、一括して設定できるプロジェクターの上限は 256 台です。設定の方法は、次の 2 種類の方法があります。

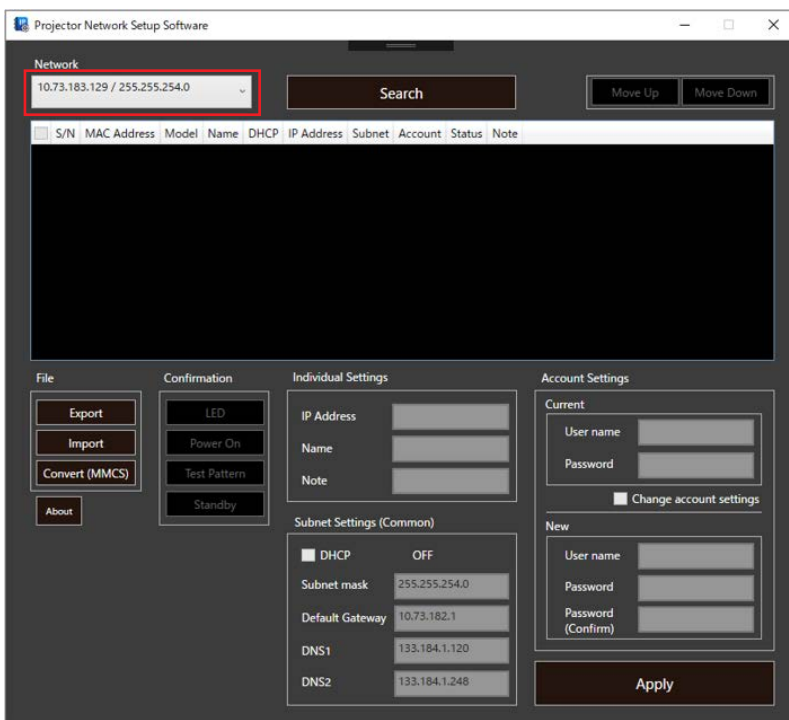
- A) 本ソフトウェア上で設定情報を入力する場合 ➡ 2 ページ
- B) 作成済みの設定情報を読み込んでプロジェクターに反映する場合 ➡ 6 ページ

A) 本ソフトウェア上で設定情報を入力する場合

1. 本ソフトウェア (ProjectorNetworkSetupSoftware.exe) を起動する
 - 以下の画面が表示されます。

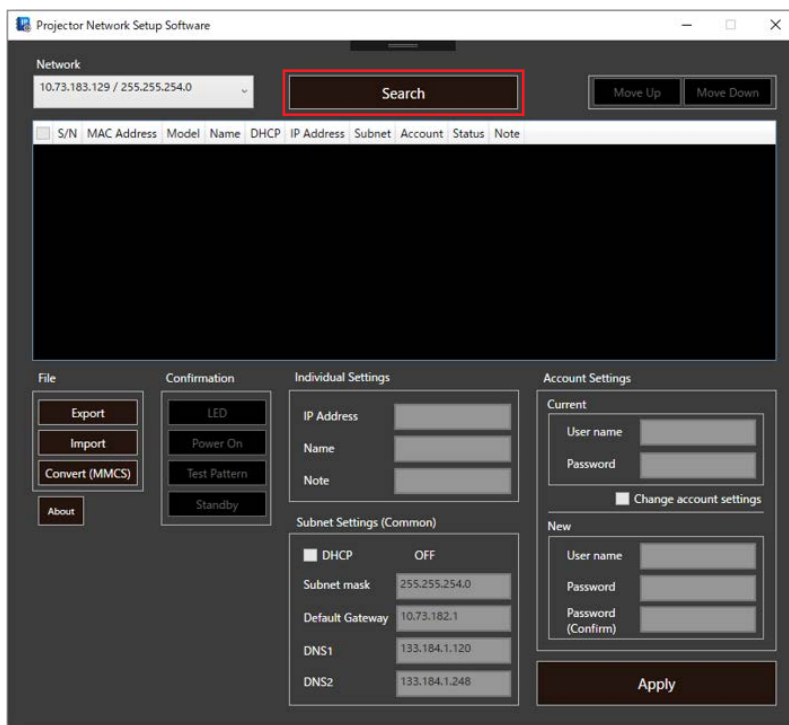


2. [Network] のプルダウンメニューから、このコンピューターを接続しているネットワークを選択する



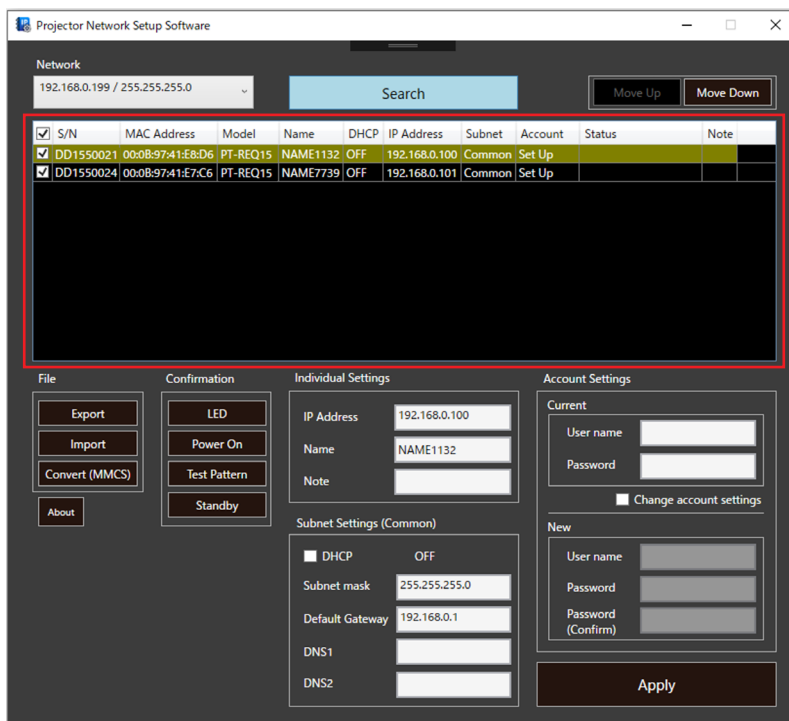
3. [Search] ボタンをクリックする

- ネットワーク上のプロジェクターを検索し、検出したプロジェクターをリストに表示します。
- 検索結果として表示できるプロジェクターの上限は 2048 台です。
- 検索の対象は IPv4 で動作するプロジェクターです。IPv6 のみで動作しているプロジェクターは検索や設定ができません。



4. 設定の対象とするプロジェクターのチェックボックスにチェックを入れる

- リストに表示されている検索結果の中から、設定を反映したいプロジェクターの行のチェックボックスにチェックを入れてください。
- 最上部にあるタイトル行のチェックボックスにチェックを入れるとすべての行にチェックが入り、外すとすべての行のチェックが外れます。



5. 前の手順でチェックボックスにチェックを入れたプロジェクターのうち、管理者アカウントやネットワーク情報を設定したいプロジェクターの行をクリックして選択する

6. 選択したプロジェクターの管理者アカウントの情報を入力する

- プロジェクターに管理者アカウントを設定しているかどうかに応じてこの後の操作が異なります。
 - 管理者アカウントが未設定のプロジェクターは、[Account] に [Not Set Up] と表示されています。この場合は「(a) 管理者アカウントが未設定の場合」に進みます。
 - 管理者アカウントが設定されているプロジェクターは、[Account] に [Set Up] と表示されています。この場合は「(b) 管理者アカウントが設定されている場合」に進みます。
- ネットワーク情報やプロジェクター名を設定するには、管理者アカウントをあらかじめ設定しておく必要があります。悪意の第三者によるネットワーク情報の変更を防ぐため、ユーザー名とパスワードによるアクセス制限を行ってください。
- 管理者アカウントの設定に使用できる文字と最大文字数について、詳しくは“管理者アカウント設定で使用可能な文字と最大文字数”（▶ 8 ページ）をご覧ください。

(a) 管理者アカウントが未設定の場合

管理者アカウントとして使用するユーザー名とパスワードを、[Account Settings] の [New] の [User name]、[Password]、[Password (Confirm)] に入力してください。

The screenshot shows the 'Account Settings' interface. It has two main sections: 'Current' and 'New'. The 'Current' section has fields for 'User name' and 'Password'. The 'New' section has fields for 'User name', 'Password', and 'Password (Confirm)'. A red rectangular box highlights the 'New' section.

(b) 管理者アカウントが設定されている場合

選択したプロジェクターに設定されている管理者アカウントのユーザー名とパスワードを [Account Settings] の [Current] の [User name]、[Password] に入力してください。

The screenshot shows the 'Account Settings' interface. The 'Current' section has fields for 'User name' and 'Password'. The 'New' section has fields for 'User name', 'Password', and 'Password (Confirm)'. A red rectangular box highlights the 'Current' section. Below the 'Current' section, there is a checkbox labeled 'Change account settings' which is currently unchecked.

管理者アカウントの情報を変更するときは

[Change account settings] チェックボックスにチェックを入れてください。

変更後の管理者アカウント情報を入力する [Account Settings] の [New] の設定項目が入力可能になります。

変更後のユーザー名とパスワードを [User name]、[Password]、[Password(Confirm)] に入力してください。

The image shows two screenshots of the 'Account Settings' interface connected by a large black arrow pointing from left to right. In the left screenshot, the 'Current' section has 'User name' set to 'dispadmin' and 'Password' masked with dots. The 'Change account settings' checkbox is unchecked. In the right screenshot, the 'Change account settings' checkbox is checked, and the 'New' section is highlighted with a red box, indicating it is now active for input.

7. 選択したプロジェクターのネットワーク情報を入力する

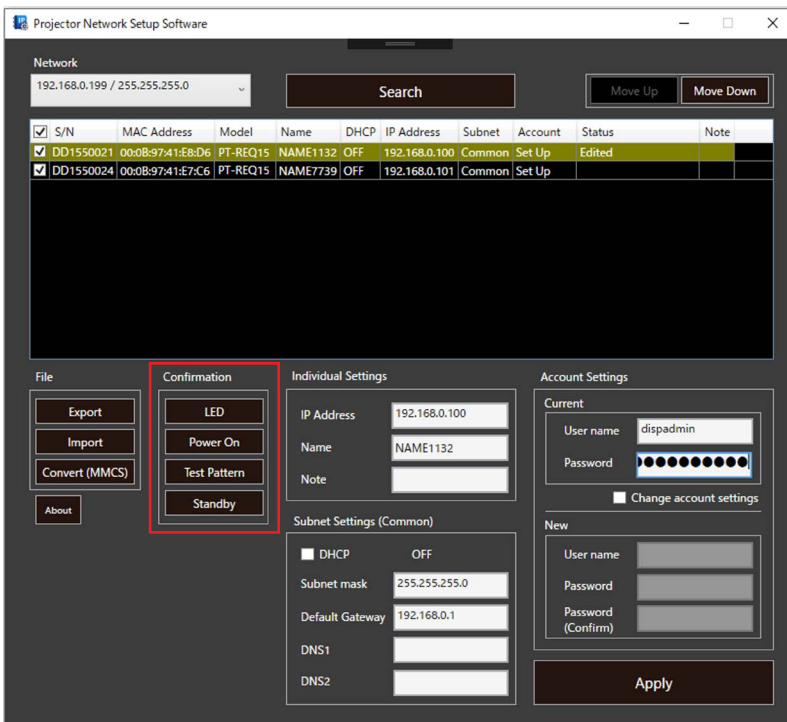
- 本ソフトウェアで設定できる項目については、“設定できる項目”（➡ 8 ページ）をご覧ください。
- IP アドレスを自動的に付与することもできます。[IP Address] を空白、または「*」を使用した表記にすると、空いている IP アドレスが自動的に付与されます。詳しくは、“IP アドレスの自動付与”（➡ 8 ページ）をご覧ください。
- [Subnet Settings (Common)] の [DHCP] が ON になっている場合、[Subnet Settings (Common)] の [Subnet mask]、[Default Gateway]、[DNS 1]、[DNS 2] と [Individual Settings] の [IP Address] はグレー表示され、設定はできません。IP アドレスを手動で指定する場合は、チェックボックスのチェックを外して [DHCP] を OFF にしてから各設定項目を入力してください。
- IP アドレスの設定を変更したい場合は [Individual Settings] の [IP Address] を編集してください。[IP Address] の内容を更新すると、プロジェクターのリストの [Status] に [Edited] と表示されます。必要に応じて [Subnet Settings (Common)] の [Subnet mask]、[Default Gateway]、[DNS 1]、[DNS 2] を編集してください。

8. [Apply] ボタンをクリックする

- 設定した内容が、リスト上でチェックボックスにチェックが入っているプロジェクターに反映されます。設定が反映されたプロジェクターは、リストの [Status] 列の表示が [OK] に変わります。管理者アカウントが未設定だったプロジェクターは、[Account] の表示が [Set Up] に変わります。
- この操作によって、リスト上でチェックボックスにチェックが入っていたプロジェクターすべてのネットワーク設定情報が上書きされます。上書きしたくないプロジェクターについては、リストのチェックボックスにチェックが入っていないことを事前に確認してください。

お知らせ

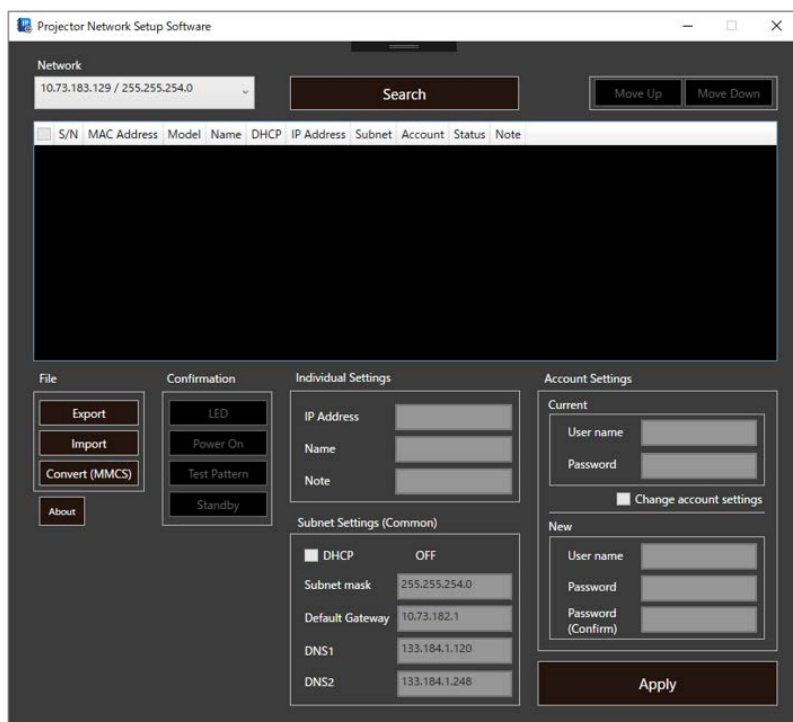
- 設定済みの管理者アカウントの情報を変更する機能は、本機能に対応したプロジェクターのみ実行できます。対応していないプロジェクターに対して実行した場合、[Status] に [Unknown error] と表示され、設定は反映されません。
- 複数のプロジェクターに対して未設定のアカウント情報を設定したり、設定済みの管理者アカウントやネットワーク情報を変更するときは、手順 5 から手順 7 までをプロジェクターごとに繰り返してください。
- 本ソフトウェアにやり直しの機能はありません。ネットワーク設定を誤って上書きした場合はもう一度設定を行ってください。
- 選択中のプロジェクターの所在を確認したい場合は、[LED] ボタンをクリックしてください。該当のプロジェクター本体の電源インジケータ <ON(G)/STANDBY(R)> が 5 秒間点滅します。高所に取り付けられているなど、電源インジケータの点滅状態を確認することが難しい場合は、[Power On] ボタン、[Test Pattern] ボタン、[Standby] ボタンを操作して、投写の開始やテストパターンの表示を確認してください。また、[Confirmation] のボタン操作を行う場合は [Account Settings] の [Current] に管理者アカウントの情報が入力されている必要があります。



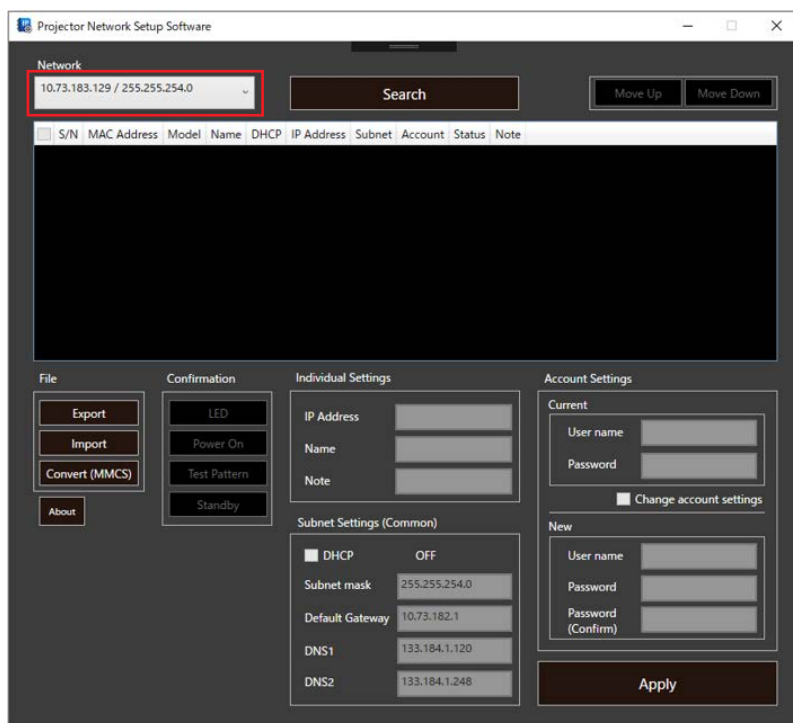
B) 作成済みの設定情報を読み込んでプロジェクターに反映する場合

1. 本ソフトウェア (ProjectorNetworkSetupSoftware.exe) を起動する

- 以下の画面が表示されます。



2. [Network] のプルダウンメニューから、このコンピューターを接続しているネットワークを選択する



3. [Search] をクリックする

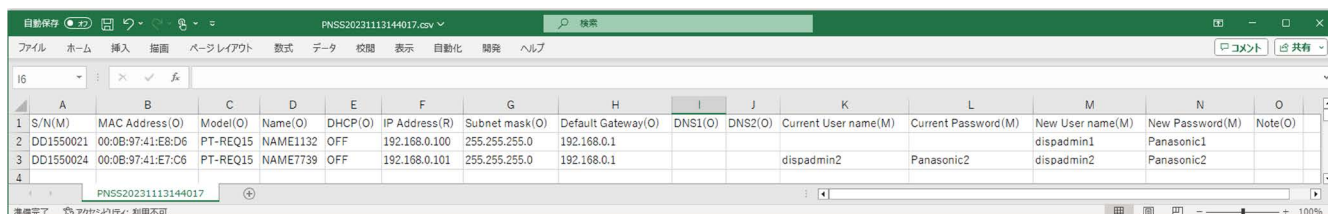
- ネットワーク上のプロジェクターを検索し、検出したプロジェクターをリストに表示します。
- 検索結果として表示できるプロジェクターの上限は 2048 台です。
- 検索の対象は IPv4 で動作するプロジェクターです。IPv6 のみで動作しているプロジェクターは検索や設定ができません。
- 項目名のみが入力された編集用の CSV ファイルをエクスポートすることもできます。その場合は手順 3 の操作を行わずに、手順 4 に進んでください。

4. [Export] をクリックする

- コンピューターのデスクトップに、リストに表示されているプロジェクターのリストアップファイルが CSV 形式で生成されます。ファイル名は「PNSS」とファイルの生成日時で構成されています。
(例: PNSS20180412170704.csv)
- リストにプロジェクターが表示されていない状態で [Export] をクリックした場合は、項目名のみ入力された編集用の CSV ファイルがエクスポートされます。

5. CSV ファイルを、Excel などの表計算ソフトやエディターで編集する

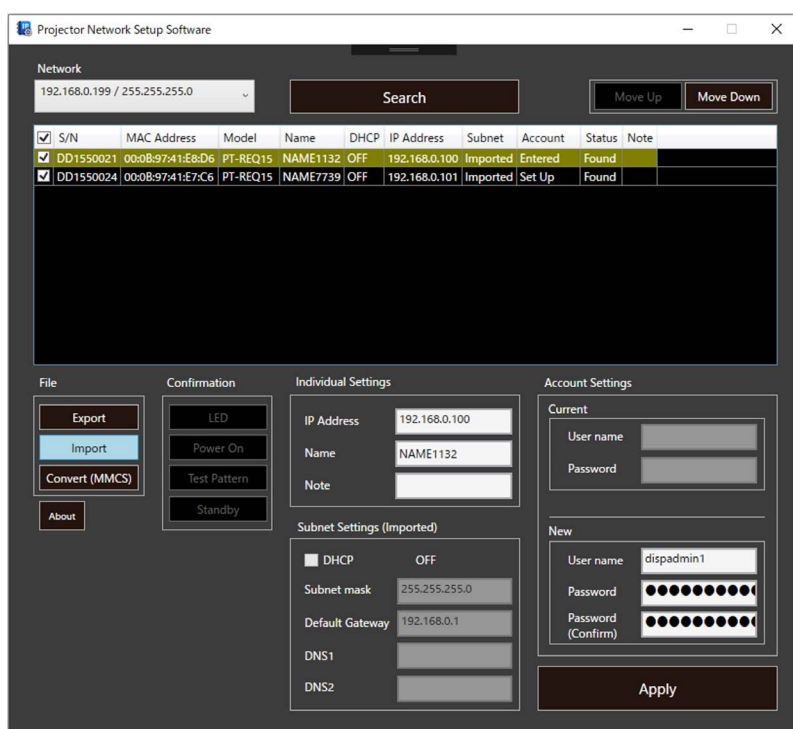
- プロジェクターに設定するネットワーク情報（IP アドレスなど）や、プロジェクターに設定されている管理者アカウントのユーザー名とパスワード、シリアル番号などの機器情報を入力してください。入力できる項目について、詳しくは“CSV ファイルについて”（⇒ 9 ページ）をご覧ください。
- 管理者アカウントが設定されていないプロジェクターについては、必ず管理者アカウントのユーザー名とパスワードも入力してください。リストに表示されているプロジェクターのうち、管理者アカウントが設定されていないプロジェクターの [Account] には [Not Set Up] と表示されています。
- 管理者アカウントのユーザー名に使用できない文字を入力していたり、最大文字数を超過していたりする場合は、プロジェクターへのインポート時にフォーマットエラーと判断され、[Status] に [Format error] と表示されます。入力できる項目について、詳しくは“CSV ファイルについて”（⇒ 9 ページ）をご覧ください。
- IP アドレスの入力は省略することもできます。IP アドレスが入力されていない場合は、接続中のネットワーク内で空いている IP アドレスが自動的に付与されます。詳しくは“IP アドレスの自動付与”（⇒ 8 ページ）をご覧ください。



S/N(M)	MAC Address(O)	Model(O)	Name(O)	DHCP(O)	IP Address(R)	Subnet mask(O)	Default Gateway(O)	DNS1(O)	DNS2(O)	Current User name(M)	Current Password(M)	New User name(M)	New Password(M)	Note(O)
DD1550021	00:08:97:41:E8:D6	PT-REQ15	NAME1132	OFF	192.168.0.100	255.255.255.0	192.168.0.1							
DD1550024	00:08:97:41:E7:C6	PT-REQ15	NAME7739	OFF	192.168.0.101	255.255.255.0	192.168.0.1			dispadmin2	Panasonic2	dispadmin2	Panasonic2	

6. [Import] ボタンをクリックし、修正済みの CSV ファイルを選択する

- [Import] ボタンをクリックせずに、該当の CSV ファイルをリストにドラッグアンドドロップすることでもインポートできます。
- CSV ファイルに記載されているプロジェクターが、選択中のネットワーク内に検出できた場合、[Status] に [Found] と表示されます。検出できなかった場合は [Not Found] と表示されます。
- CSV ファイルのインポートで新たに管理者アカウントを設定する場合は、[Account Settings] の [New] の [User name] と [Password] にその内容が反映されるとともに [Account] の表示が [Entered] になり、IP アドレス等の入力が可能になります。



7. 設定を反映させるプロジェクターをリストから選択する

8. [Apply] ボタンをクリックする

- 選択したプロジェクターに CSV ファイルの内容が反映され、[Status] の表示が [OK] になり、[Account] の表示が [Set Up] になります。

お知らせ

- 本ソフトウェアにやり直しの機能はありません。ネットワーク設定を誤って上書きした場合はもう一度設定を行ってください。

■ 設定できる項目

本ソフトウェアで設定できる項目は次のとおりです。

項目	入力種別	内容
IP Address	個別	IP アドレス (IPv4) を設定します。
Name	個別	プロジェクター名を設定します。
DHCP	共通	DHCP の有効 / 無効を設定します。ON にすると、IP Address、Subnet mask、Default Gateway、DNS1、DNS2 を自動的に取得します。
Subnet mask	共通	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	共通	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。未設定でもネットワーク接続が可能です。
DNS1	共通	1 台目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。未設定でもネットワーク接続が可能です。
DNS2	共通	2 台目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。未設定でもネットワーク接続が可能です。
User name	個別	管理者アカウントのユーザー名を設定します。
Password	個別	管理者アカウントのパスワードを設定します。

個別：リストの各行に値を入力すると、それぞれのプロジェクターに個別の値が適用されます。

共通：リストに表示されているすべてのプロジェクターに対して共通の値が適用されます。

管理者アカウント設定で使用可能な文字と最大文字数

管理者アカウントのユーザー名とパスワードに使用できる文字と最大文字数は次のとおりです。

ユーザー名：「:」を除く 16 文字までの英数字記号

パスワード：16 文字までの英数字記号

プロジェクター名で使用可能な文字と最大文字数

使用可能な文字は次のとおりです。

アルファベット：A ~ Z、a ~ z (設定前のプロジェクター名に小文字が使用されている場合のみ、小文字を使用することができます。)

数字：0 ~ 9

記号：「-」、「.」

最大文字数は半角 8 文字です。ただし、設定前のプロジェクター名が 9 文字以上の場合は、設定前のプロジェクター名の文字数が最大文字数になります。

IP アドレスの自動付与

ネットワーク設定やインポート時に、IP アドレスの入力欄が空欄、または「*」を使用した表記で入力すると、指定しているデフォルトゲートウェイ、DNS (DNS1 と DNS2) を除くサブネットの範囲内で、空いている IP アドレスが自動的に付与されます。

次の表は本ソフトウェアを実施するコンピューターのネットワーク設定例です。

IP アドレス	192.168.10.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
DNS1	192.168.10.2
DNS2	192.168.10.3

本ソフトウェアを実施しているコンピューターから、次の表の「IP アドレスの入力例」を入力し、ネットワーク設定やインポートを実施すると、「自動付与される IP アドレス」が付与されます。「*」は必ず文字の末尾に入力してください。途中に入力した場合は、それ以降の文字が無視されます。

IP アドレスの入力例	自動付与される IP アドレス
空欄	192.168.10.4 以降で空いている IP アドレス
*	192.168.10.4 以降で空いている IP アドレス
192.*	192.168.10.4 以降で空いている IP アドレス
192.168.10.1*	192.168.10.10 以降で空いている IP アドレス
192.168.10.2*	192.168.10.21 以降で空いている IP アドレス (実施しているコンピューターの IP アドレス「192.168.10.20」は除く)
192.168.10.10*	192.168.10.100 以降で空いている IP アドレス

お知らせ

- 空いている IP アドレスがない場合は警告が表示され、自動付与は実行されません。

■ CSV ファイルについて

エクスポートされた CSV ファイルには、ネットワーク設定に必要なシリアル番号や IP アドレスなどが記載されています。

CSV ファイルの例：

S/N(M),MAC Address(O),Model(O),Name(O),DHCP(O),IP Address(R),Subnet mask(O),Default Gateway(O),DNS 1(O),DNS2(O), Current User name(M),Current Password(M),New User name(M),New Password(M),Note(O)
SD0000001,00:00:00:00:00:01,PT-VMZ51,Name0001,OFF,192.168.10.101,255.255.255.0,192.168.10.1,192.168.10.1,,admin 1,panasonic,,
SD0000002,00:00:00:00:00:02,PT-VMZ51,Name0002,OFF,192.168.10.101,255.255.255.0,192.168.10.1,192.168.10.1,,admin 1,panasonic,,
SD0000003,00:00:00:00:00:03,PT-VMZ51,Name0003,OFF,192.168.10.101,255.255.255.0,192.168.10.1,192.168.10.1,,admin 1,panasonic,,
SD0000004,00:00:00:00:00:04,PT-VMZ51,Name0004,OFF,192.168.10.101,255.255.255.0,192.168.10.1,192.168.10.1,,admin 1,panasonic,,

1 行目は各項目名を表しています。リストにプロジェクターが表示されていない場合、項目名だけの CSV ファイルが出力されます。項目名は削除しないでください。

各項目名の右にある、M、R、O の記号は各項目の入力の必要性を表しています。記号の内容は次の表のとおりです。

記号	必要性
M (Mandatory)	必ず入力してください。(Current User name、Password、New User name、Password は管理者アカウントの設定状況によっては入力不要です。)
R (Recommended)	自動的に付与される場合がありますが、入力が必要になることもあります。
O (Optional)	必要に応じて入力してください。未入力でもネットワーク接続が可能です。

2 行目以降の各行は次の項目から構成されています。

項目	記号	内容
S/N	M	対象プロジェクターのシリアル番号です。
MAC Address	O	対象プロジェクターの MAC アドレスです。S/N が入力されておらず、MAC アドレスが入力されている場合でも、ネットワーク設定の実施が可能です。
Model	O	対象プロジェクターのモデル名です。本項目はネットワーク設定には使用しません。未入力の場合、選択された LAN 上の S/N もしくは MAC アドレスが一致するプロジェクターのモデル名が入力されます。
Name	O	対象プロジェクターに設定するプロジェクター名です。未入力の場合、選択された LAN 上の S/N もしくは MAC アドレスが一致するプロジェクターのプロジェクター名が入力されます。
DHCP	O	対象プロジェクターに DHCP を設定するかどうかを「ON」または「OFF」で指定します。未入力の場合、OFF になります。ON にすると、IP Address、Subnet mask、Default Gateway、DNS 1、DNS 2 は設定できなくなります。
IP Address	R	対象プロジェクターに設定する IP アドレス (IPv4) を入力します。DHCP が OFF の状態で IP アドレスが未入力の場合、または「*」を使用した表記の場合は、選択している LAN 内で重複しない有効な IP アドレスが自動で付与されます。
Subnet mask	O	対象プロジェクターに設定するサブネットマスクを入力します。DHCP が OFF の状態で Subnet mask が未入力の場合、[Subnet Settings (Common)] の [Subnet mask] の値がネットワーク設定の実施時に使用されます。
Default Gateway	O	対象プロジェクターに設定するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。未設定でもネットワーク接続が可能です。DHCP を ON にした場合は、入力不要です。
DNS 1	O	1 台目の DNS サーバーの IP アドレスを入力します。未設定でもネットワーク接続が可能です。DHCP を ON にした場合は、入力不要です。
DNS 2	O	2 台目の DNS サーバーの IP アドレスを入力します。未設定でもネットワーク接続が可能です。DHCP を ON にした場合は、入力不要です。
Current User name	M * ¹	対象プロジェクターに設定されている管理者アカウントのユーザー名を入力します。管理者アカウントが未設定の場合は、入力不要です。
Current Password	M * ¹	対象プロジェクターに設定されている管理者アカウントのパスワードを入力します。管理者アカウントが未設定の場合は、入力不要です。
New User name	M * ²	対象プロジェクターに管理者アカウントが未設定の場合、もしくは、設定されている管理者アカウントを変更したい場合に、設定する管理者アカウントのユーザー名を入力します。16 文字までの英数字と記号を使用できます。
New Password	M * ²	対象プロジェクターに管理者アカウントが未設定の場合、もしくは、設定されている管理者アカウントを変更したい場合に、設定する管理者アカウントのパスワードを入力します。16 文字までの英数字と記号を使用できます。
Note	O	対象プロジェクターの補足情報などを半角の英数字と記号で入力します。ネットワーク設定には使用しませんが、本ソフトウェアのリストに表示されます。また、リストに表示されるのは 32 文字までですが、32 文字を超える情報を入力できます。

*1 管理者アカウントが未設定の場合は入力不要です。

*2 管理者アカウントを設定する場合、もしくは設定済みの情報を変更する場合に入力してください。

CSV ファイルについての注意点

- ユーザー名とパスワードの先頭が記号（例：@Panasonic）の場合、Excel でユーザー名とパスワードを変更しようとすると Excel の関数として認識されることがあります。この場合、該当のセルのみメモ帳などのエディターで変更してください。該当するセル以外は Excel で変更することが可能です。

■ ステータス

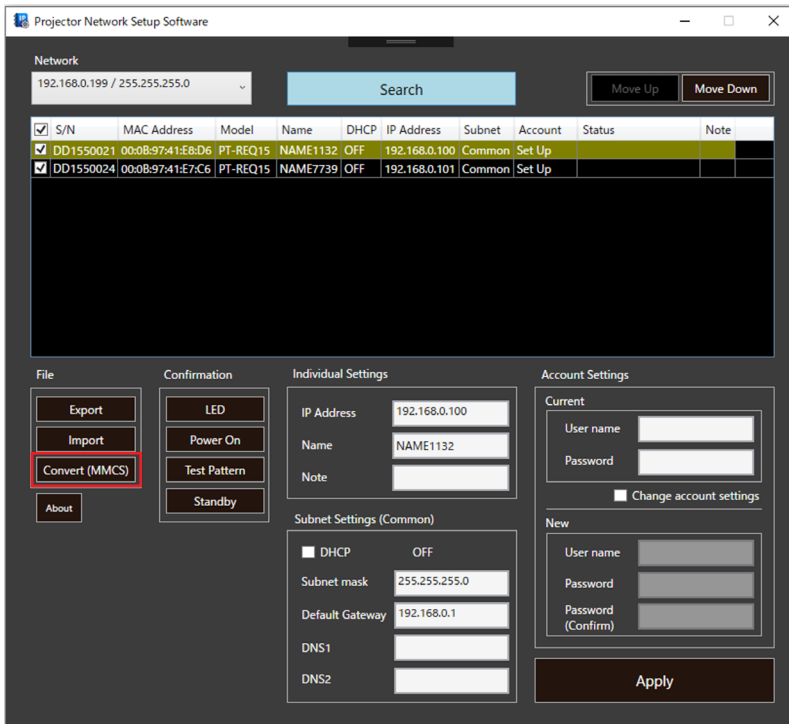
リストの [Status] に次のステータスが表示されます。OK、Edited、Found 以外のステータスが表示されているプロジェクター情報はすべて赤文字で表示されます。

Status	状態
OK	プロジェクターの所在確認や、ネットワーク設定に成功した。
Edited	プロジェクター設定情報を編集済み。
Found	プロジェクターが LAN 内で見つかった。
Not found	プロジェクターが LAN 内で見つからなかった。
Format error	インポートファイルのフォーマットエラー。
IP Address overlapped	LAN に重複した IP アドレスがある。
Invalid IP Address	不正の IP アドレス。
No unused IP Address	IP アドレス自動付与時、指定範囲内で空いている IP アドレスがない。
Invalid Current Account Settings	[Account Settings] の [Current] に入力している管理者アカウント情報が、プロジェクターに設定されている管理者アカウント情報と一致しない。
Invalid New Account Settings	[Account Settings] の [New] に入力している管理者アカウント情報が不正。 (ユーザー名が指定されていない。パスワード、確認用パスワードが一致していない。)
Operation not allowed	ネットワークメニューを操作中のためネットワーク設定に失敗した。
Unknown error	何らかの理由で本体がネットワーク設定を受け付けなかった。
Designated IP Address not set	ネットワーク設定を実施したが指定の IP アドレスが設定されていない。
DHCP not serve IP Address	DHCP を ON にしたが IP アドレスが付与されていない。
Response timeout	ネットワーク設定を実施したが、本体からの通信がタイムアウトした。

■ 複数台監視制御ソフトウェアとの連携

本ソフトウェアで設定した内容を複数台監視制御ソフトウェアに取り込むことができます。取り込み方法は次のとおりです。

1. ネットワークを選択してプロジェクターを検索し、[Convert (MMCS)] ボタンをクリックする



- 「MMCS」に年、月、日、時、分、秒がついた名前のUGKファイル（例:MMCS20180412170704.ugk）がデスクトップに作成されます。
2. 複数台監視制御ソフトウェアを起動し、[機材管理] > [外部設定ファイルのインポート] > [Geometry Manager Pro] メニューからプロジェクター登録情報ファイル（拡張子：.ugk）を取り込む
- 複数台監視制御ソフトウェアにプロジェクター情報が取り込まれます。

■ 商標などについて

Windows、Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。